

The repository of arts, literature, commerce, manufactures, fashions and politics, 40 vols.
 London, R. Ackerman, 1809—1828. 24.0×14.5cm <380. 5-R>
 Hiler p. 745 Colas 2541 Lipp. 4598

repository は宝庫の意で、本誌も一般には『アッカーマンの宝庫』または『芸術の宝庫』と呼ばれ、19世紀初頭イギリスの最も著名なファッション・ブックに数えられている。当時のそれは一種の総合婦人雑誌で、タイトルの示すとおり、内容も極めて広範に及んでいる。つまり、小説・戯曲・伝記・詩・流行・製品案内・通信・地誌・博物学……などである。本誌をとりわけ有名にしたのは、通巻900枚からなる他誌を圧する魅惑的筆致の手彩色版画で、技法的には銅版画（ビュラン版とアクアティント版が中心）と石版画に分けられ、主題別にみると、最も多いのがファッションで約半分を占めている。他の街頭・建築・室内・風景・乗物・家具・調度・動植物・肖像画などが対象になっている。

『アッカーマンの宝庫』は通例三期に大別されている。第Ⅰ期は1809年1月号から1815年12月号までの第1～14巻、第Ⅱ期は1816年1月号から1822年12月号までの新第1～12巻、第Ⅲ期は1823年1月号から1828年までの再新第1～12巻の計40巻である。ファッション・プレートに関する限り、これらのうちでも末期の1826年以降のものが特に優れている。

このように、本誌の刊行は20年間にすぎないが、この期はヨーロッパ史上でも大きな転期に当たっており、とりわけナポレオンⅠ世（在位1804—1815）にちなむエンパイア様式期の史料として貴重である。発行者のルドルフ・アッカーマンは、1764年、ドイツのザクセン州、シュトールベルクの馬車・馬具師の家に生まれ、のちパリを経てロンドンに定住し、出版人として大きな成功をおさめた。彼が美術印刷に大きく貢献する契機を開いたのは、ドイツ人の銅版画家ハイデロフ（Nikolaus Wilhelm von Heideloff 1761—1839）**(98)**とのパリでの出会いであった。本誌の名を不朽ならしめた功績の大半も、実はハイデロフに負っている。（石山）